

目盛りの読み方 (ノギス)

① 副尺の「0」が主尺のどこにあるかみる。
例では、副尺の「0」が主尺の32mmと33mmの間にあるから、主尺から32mmが読み取れる。

主(①より) **32** mm

② 副尺と主尺の線が一致している副尺の目盛りより5.5が読み取れる。

副(②より) **0.55** mm

32.55 mm

